

接遇向上手法研修後記念撮影（ザブハン県医療・社会保険事務所）



★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★

接遇向上手法短期専門家による研修が行われました。

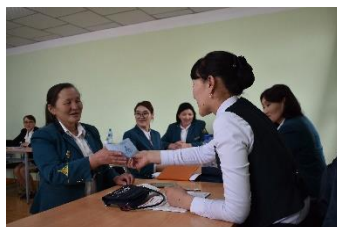


4月23日～5月6日、菅谷接遇向上手法短期専門家がモンゴルを訪

問し、医療・社会保険庁およびウランバートル市内や数か所の地方の医療・社会保険事務所において、研修を行いました。この研修は、主に医療・社会保険事務所の職員の接遇に関する知識や技術を深めることにより、国民に対するサービスを向上させ、また、コミュニケーションにかかる能力を向上させることにより職場内でのチームワークの大切さを理解してもらう目的で実施しており、今回で2回目となります。

今回はウランバートル市以外に、地方のトップ県及びザブハン県医療・社会保険事務所においても同

↑お客様の立場になって考えてみるという実践演習の様子



←接遇演習の様子

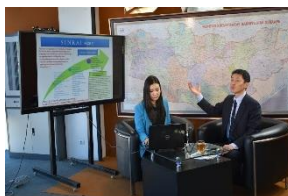
研修を実施しました。職員の方々は講義のみならず、演習も含

めて非常に積極的に参加し、最後に、参加者は研修修了バッジを受け取りました。特に医療・社会保険事務所では、住民と密に接して業務を行うことが多いため、今回の研修で学んだことを実践し、業務効率を向上することを期待しています。



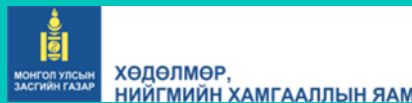
テレビ番組を通じた啓発活動

年金の重要性だけでなく、日本の年金の歴史や制度、意義をお伝えし、皆さまにモンゴルの将来について考えてもらうテレビ番組の放映が Smart HD TV で始まりました。（月曜夜）多くの方にご覧いただけますよう、わかりやすい内容となっています。番組動画については公式フェイスブックページにも公開されています。

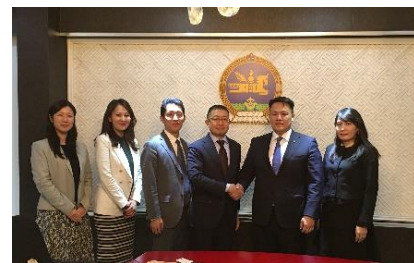


SINRAI PROJECT JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第 11 号
2017 年 5 月



主な内容（次項）



連載「草原の国の社会保障」

今回は、「所得再分配と経済発展」についての記事です。（写真：プロジェクトによるノムトイバヤル労働・社会保障省大臣への表敬訪問）



ウランバートル国立大学での講演

JICA 青年海外協力隊の方のサポートを得て、ウランバートル国立大学において学生向けに社会保険セミナーを開催しました。（写真：セミナーに参加している学生と大学で活動している JICA ボランティア）

草原の国の社会保障（第 11 話） 「所得再分配と経済発展」

皆さま、こんにちは。

アジア各国の発展の度合いを見ますと、どの国も開発途上国から中所得国になったものの、中所得国の状態から抜け出し、先進国に到達した国は、残念ながら多くありません。これは、「中所得国の罠」と言われているもので、開発途上国から中所得国になるために行った経済成長に関する政策を、そのまま続けていても、先進国には到達しないため、この段階で経済が停滞してしまう現象を表しています。モンゴルは 2010 年代前半の急激な経済成長により、中所得国になりました。そのモンゴルが、「中所得国の罠」に陥らずに、先進国となる必要な政策の一つが「中間所得層の創出」なのです。

経済というのは簡単に言えば、生産活動と生産されたものを消費する活動に大きく分かれます。生産活動が盛んであっても、消費活動が停滞してしまえば、在庫が膨らみ、経済は良くなりません。このため、消費活動を活性化させることで、経済を良くする政策が必要となります。つまり、消費活動が旺盛な低所得者層を刺激する政策である「中間所得層の創出」こそが、経済を更に良くする鍵であることが理解できます。もう少し、具体例でお伝えします。高所得者層は、車を二台持っていると思います。けれど、車を持つことが趣味でない限り、車を三台、四台と購入することはありませんよね。一方で、低所得者層が中間所得層になれば、念願の車を一台購入したいと思うのではないのでしょうか。この思いは、高所得者層が三台目の車を購入する思いとは比べものになりません。

では、中間所得層の創出はどうすればできるのでしょうか。

日本では、高所得者層が税金や保険料で多くの負担をする一方で、低所得者層が多くの受給額を得ています。日本のことわざに「金は天下の回り物」というものがあります。お金は持っている意味がありません。例えば、ゆくゆくは自分に返ってくるのです。政府が、高所得者層に対し多くの税金を徴収し、そのお金で貧困の解消や拡大する所得格差の縮小を行えば、ゆくゆくはその国が富み、高所得者層にお金が戻ってきます。こうした政策が、中所得国の罠を抜け出す必要条件なのです。

チーフアドバイザー 山下 護

JICA 本部の出張者が SINRAI プロジェクトを視察しました。

4 月 9 日～14 日、JICA 本部において、SINRAI プロジェクトを担当している中村国際協力専門員および佐藤主任調査役がモンゴルを訪問しました。

トブ県医療・社会保険事務所視察 ↓



医療・社会保険庁でのウィークリーミーティング研修会の参加、労働・社会保障大臣や、プロジェクトを協力して進めている労働・社会保障省、医療・社会保険庁の幹部の方々との意見交換のみならず、ウランバートル市バヤンゴル区医療・社会保険事務所やトブ県医療・社会保険事務所の視察も行いました。中村国際協力専門員および佐藤主任調査役からは、実際にプロジェクトの活

動を見ることができて大変良かった、今後も密接に協力していきたいとのコメントがありました。



ウィークリーミーティング 研修会参加の様子 ↑

ウランバートル市大学において講演を行いました。



4 月 5 日、JICA 青年海外協力隊員の活動先の一つであるウランバートル市大学を訪問し、大学の学生や教員の方々に対して社会保険セミナーを行いました。今後のモンゴルの人口構成の変化だけでなく、日本の社会保険制度の紹介や、保険と貯蓄の特徴の違いなどについて説明を行いました。参加者からは、社会保険の重要性が理解できただけでなく、将来のモンゴルの社会保険制度の在り方を考える機会となったという感想をいただきました。今後も若者に向けたセミナーを随時開催していく予定です。



Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл
作成者 GoGo News 191 19時前

SINRAI Нийгмийн даатгалын үйл ажиллагааны чадавхийг бэхжүүлэх төсөл-ийн Ямашита ахлах зөвлөхийн нийтлэлийг хүлээн авна уу. JICA 「社会保険実施能力強化プロジェクト」 山下チーフアドバイザーによる記事です。#SINRAI #Нийгмийндаатгал #даатгал #JICA #ЖАЙКА

Дундаж давхаргын өрхийн тоог хэрхэн нэмэгдүүлэх вэ
Ялон улсын ЖАЙКА байгууллагаас Нийгмийн даатгалын салбарын чадавхийг бэхжүүлэх техник хамтын ажиллагааны төслийг хэрэгжүүлж байгаа билээ.
NEWS.GOGO.MN

プロジェクト公式 Facebook ページもご覧ください!

フェイスブックページでは、日々の活動の情報がタイムリーに発信されています。また、専門家による社会保険に関連する記事もお読みいただけます!!

プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6 階 602 号室
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：
Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから
<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>